

みどいのこだま

～ふくしまから はじめよう～

福島県相双農林事務所農業振興普及部
〒975-0031 南相馬市原町区錦町1-30
TEL (0244) 26-1149
FAX (0244) 26-1169
E-mail: shinkouhukuyuu.af06@pref.fukushima.jp

新たな担い手組織について - 飯豊ファーム(相馬市) -

相馬市飯豊地区では、新たな担い手組織として3つの農業生産法人が設立されました。相馬市では各法人へヤマト福祉財団の助成を受けて導入した農業機械を貸与し、昨年からの津波被災田の復旧や大豆生産に取り組んでいます。



その1つである「飯豊ファーム」は、新田地区と程田地区の担い手を中心とした合同会社で、平成24年度は相馬市・東京農業大学・J Aそうま・相双農林事務所農業振興普及部の支援を受けて約12ヘクタールの被災田で大豆を作付けしました。

今年度は、作付面積を約40ヘクタールに拡大する予定であり、津波により、機械等が流失して営農継続が困難になった農業者の雇用など、地域農業の受け皿としても期待されています。

左：津波被災田で除塩として石灰資材を散布している様子

被災農業者の営農再開支援について

県では、東日本大震災や福島第一原発事故等の影響により農業生産を中断している農業者の営農再開を支援するため、232億円の基金(25～27年度分)を創設しました。この事業を活用して営農再開を図りましょう!

事業(メニュー)	事業内容	事業主体	補助率	対象地域
農地の保全管理	農地の除草、耕耘、土づくり、農道・用水路の補修等	市町村、JA、農業者団体等	定額	※1
鳥獣被害防止	被害防止施設の整備、被害防止活動の実施	県、市町村、協議会等	定額又は1/2	※1
作付実証	米の試験栽培・作付実証、野菜・花きの作付実証	県、市町村、JA、農業者団体等	定額	※1
管理耕作への支援	農業機械のリース、農地の管理耕作	市町村、JA、農業生産法人、公社、農業者団体等	定額	※1
放射性物質の交差汚染防止	籾すり機等による交差汚染防止のための対策	市町村、JA、農業者団体等	定額	※1
新たな農業への転換支援	農業機械のリース、リース方式による園芸施設の導入他	市町村、JA、農業生産法人、公社、農業者団体等	1/2以内又は定額	※1
放射性物質の吸収抑制対策	吸収抑制資材の施用、品目・品種転換、果樹の改植、反転耕	市町村、JA、農業者団体等	定額	福島県全域
吸収抑制対策の体制整備	調査、指導等の実施	県、市町村、JA、農業者団体等	定額	福島県全域
知事特認	知事が必要と認めたもの	県、市町村、公社、JA、農業者団体等	1/2以内又は定額	福島県全域

※1 平成25年2月26日における警戒区域、計画的避難区域、旧緊急時避難準備区域、帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域及び稲の作付制限区域



左：ラジコンヘリによる肥料散布
(放射性物質の吸収抑制対策、平成25年4月10日)

〈お問い合わせ〉市町村、相双農林事務所
農業振興普及部まで。

平成 25 年度の水稲実証栽培について

平成 25 年度の作付を自粛した南相馬市（鹿島区・原町区）において、約 122ha の水田で実証栽培が行われます。実証栽培は、営農再開に向け、昨年度の試験栽培から得られた放射性セシウムの吸収抑制対策等の成果を営農レベルで実証するものです。

実証栽培では、以下の吸収抑制対策と肥培管理等を実施します。

(放射性物質吸収抑制対策)

田植え前の基肥施用時に、ゼオライト（200～500kg/10a）と塩化カリ（50kg/10a）を散布します。

(肥培管理)

①基 肥：2年間休耕していたことで窒素の発現量が多くなるため、窒素施肥量は最大でも慣行の半分とします。なお、一発肥料は使用しないようにします。

②栽培管理：田植え後は、慣行の栽培管理を行います。また、中干しや生育に応じた追肥を行い、倒伏防止を図ります。

(交差汚染防止対策)

収穫作業開始前に乾燥機、籾すり機及び選別機等の調製機械や納屋の清掃を徹底し、玄米に放射性物質が付着しないようにします。



実証田での田植えの様子

実証栽培で収穫した玄米は、全量全袋検査を実施し、基準値以下であれば、出荷販売や自家保有米とすることができます。

作付制限区域である南相馬市小高区と原町区の一部では、9カ所約90aで試験栽培が行われます。

試験栽培では、作付再開に向け、吸収抑制対策の効果の確認を行います。なお、試験栽培で収穫された玄米は、作付制限区域であるため全量廃棄となります。

相双農林事務所では、今後も実証栽培・試験栽培の結果を分かりやすくお知らせするなど、作付制限・自粛区域における水稲作付再開に向け、積極的に支援してまいります。

モニタリング検査結果の「見える化」始めました！

相馬地方では、産地一丸となって米の全量全袋検査や園芸品目の出荷前検査を進めております。

検査が身近なものとなり、生産者からは「検査結果をきちんと公表しているのか？」「安全・安心のPRはしているのか？」といった御質問をいただくことが多くなりました。

このため、「ふくしまの恵み安全・安心推進事業」により、地元産の農産物を取り扱う直売所や道の駅の店頭で、モニタリング結果や産地が取り組む安全・安心の情報を確認できるインターネット端末を導入し、運用を始めました。

最新のモニタリング情報はもちろん、これまでの検査結果や県内の他産地の状況など様々な情報を知ることができます。

画面を触って操作する「タッチパネル式」ですので、どなたでも簡単に操作できます。

下記のお近くの店舗で、早速タッチしてみてください。



◇検査情報「見える化」機器の設置店舗 【H25.4月末現在：7店舗】

- ・相馬市「道の駅そうま」「農産物直売所 野馬土」「粟津直売所」
- ・南相馬市「道の駅南相馬」「まちなかひろば市民市場」「かしま観光物産館 四季彩」
- ・新地町「しんち地場産市場 あぐりや」

平成 24 年度園芸品目モニタリング結果について

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月	3月	合計
野菜 (根菜を除く)	検査点数	93	53	48	83	24	18	39	38	27	0	0	0	4	6	0	433
	未検出	77	52	47	78	24	13	33	33	24				4	5		390
	未検出~25Bq/kg	15	1	1	5		4	6	5	3					1		41
	検査結果 26~50Bq/kg	1															1
	51~75Bq/kg																0
	76~100Bq/kg							1									1
100Bq/kg超過																0	
果物	検査点数	0	1	9	7	43	44	38	0	0	0	0	0	0	0	0	142
	未検出				3	37	21	29									90
	未検出~25Bq/kg		1	5	3	6	21	6									42
	検査結果 26~50Bq/kg			3	1		2	2									8
	51~75Bq/kg			1				1									2
	76~100Bq/kg																0
100Bq/kg超過																0	
根菜	検査点数	4	18	16	9	2	7	8	15	2	0	0	0	1	0	0	82
	未検出	4	18	14	9	1	6	7	13	2							74
	未検出~25Bq/kg			2		1	1	1	2					1			8
	検査結果 26~50Bq/kg																0
	51~75Bq/kg																0
	76~100Bq/kg																0
100Bq/kg超過																0	

相馬地方の平成 24 年度園芸品目モニタリングは、環境放射線量が高い地域である事前確認区域を中心に総数で 657 点の検査を行いました。そのうちの 554 点 (84%) が「未検出」となり、昨年と比較して、検出される割合が低下していることが確認されました。

また、放射性セシウムの影響が心配されたジャガイモなどの根菜類は、全て 25Bq/kg 以下でした。

今後も野菜・果樹等の影響を確認するため継続したモニタリングを実施します。

なお、モニタリングの結果は、福島県のホームページからご覧いただけます。

平成 25 年度園芸品目モニタリング体制について

相馬地方において販売される野菜、果実などは、平成 24 年度に引き続き、緊急時環境放射線モニタリングの実施により安全性を確認します。また、これまでの分析結果から、特定の区域^(※1)や平成 24 年度において放射性セシウムが 50Bq/kg を超過した品目^(※2)などについては、事前確認を行うこととなります。

【事前確認の流れ】

下記の区域・品目において出荷 10 日～2 週間前に検査を行い、収穫の可否を判断します。

※1 平成24年度の検査結果が50Bq/kgを超過した品

目の事前確認を実施する区域

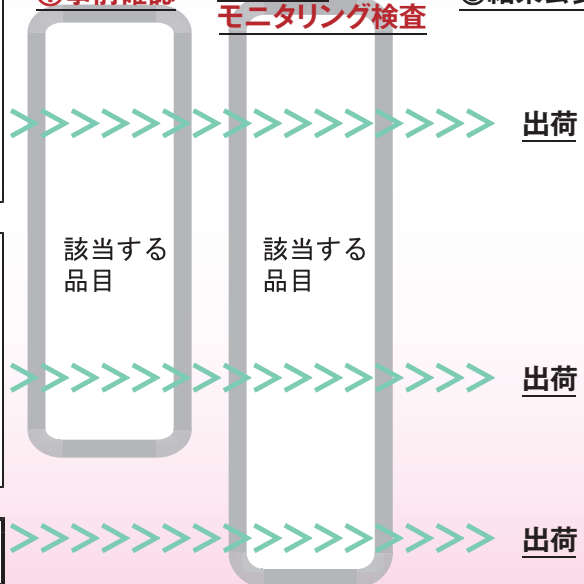
- | | | |
|------|------|-------|
| 相馬市 | 玉野地区 | 東玉野地区 |
| 南相馬市 | 鹿島区 | 榎原地区 |
| | 原町区 | 高倉地区 |
| | | 馬場地区 |
| | | 大谷地区 |
| | | 片倉地区 |
| | | 大原地区 |

※2 平成24年度の検査結果で、50Bq/kgを超えた品目を生産する市町村(一般区域)

- ・ホウレンソウ、コマツナ、シュンギク、フクノトウ、タラノメ、カボチャ、ギョウジャニンニク、レンコン、ジネンジョ、花ワサビ、ミョウガ、シソ(実)、エゴマ(実)、葉ワサビ、ワサビ(根)、サンショウ、セリ、フキ、モミジガサ
- ・ミカン、ユズ、カボス、スダチ、カキ、オウトウ、スモモ、ウメ、ブルーベリー、キウイフルーツ、クリ、ギンナン

トマトやキュウリのような主力品目や地域の特産品目

①事前確認 ②緊急時モニタリング検査 ③結果公表



農薬適正使用の推進について

農薬の適正使用について、以下のことを再確認してみましょう。

<農薬散布前日までにすること>

- ◆ 周辺住民へ散布時間帯や方法を事前に連絡し、了承を得ましょう。
- ◆ 農薬のラベルの内容（農薬名、適用作物、使用量（希釈倍率）、使用時期、使用方法、使用回数）をしっかりと確認しましょう。

<農薬散布前にすること>

- ◆ うっかりミスがないか、もう一度農薬のラベルの内容を確認して使用しましょう。
- ◆ 防護服、マスク等の保護具を着用し、散布時の中毒事故を防止しましょう。
- ◆ 秒速 3 m 以上の風速（木の葉、稲の葉がそよそよと絶えず動く状態）では飛散を防止するために散布作業を控えましょう。

<農薬散布後にすること>

- ◆ 作業日誌や防除日誌に使用した農薬の散布実績を正確に記帳しましょう。
- ◆ 農薬容器や洗浄液等は適切に処分しましょう。
- ◆ 防除器具（タンク、ホース、ノズル等）を十分に洗浄しましょう。
- ◆ 農薬は専用の保管庫に入れて、保管管理を徹底しましょう。
- ◆ 農薬散布後は身体と衣服をきれいに洗い、飲酒は控えましょう。

平成 25 年度 農業振興普及部の活動体制

去る 4 月から農業振興普及部長に就きました芳見と申します。相双地方は平成 22、23 年度に続き、4 回目の勤務となります。相馬地方の農業者、農業関係者の皆様には、日ごろより地域農業の振興に多大なご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。震災・原発事故から 3 年目となりました。一日も早い農業・農村の復興のため、職員一同、皆様とともに努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

（農業振興普及部長 芳見 茂）

農業振興普及部長 芳見 茂	農業振興課 課長 遠藤幸男	キャップ 氏家 隆(園芸産地振興 他) 伊藤 稔(経営所得安定対策 他) 保科清美(農業経営基盤強化促進法 他) 齊藤英伸(東日本大震災農業生産対策交付金 他) 高橋幸枝(9 月末まで育休中) 遠藤侑香(環境保全型農業直接支援対策 他) 藤田善光(農業系汚染廃棄物処理事業 他)
副 部 長 佐藤利朗	地域農業推進課 課長 田口明広	キャップ 岩野英一(果樹、避難農業者営農再開支援 他) 渡部誠司(野菜特産、農業法人支援、認定農業者 他) 門馬和枝(畜産、集落営農、制度資金、農業士 他) 沼 玲子(畜産、男女共同参画、新規就農促進 他) 菅野拓朗(作物、除塩対策、遊休農地対策 他) 穴澤 一(野菜特産、6 次化推進、農商工連携 他) 尾形正幸(花き、青年農業者育成 他)
	経営支援課 課長 太田弘志	キャップ 渡邊敏弘(野菜特産、緊急時環境モニタリング 他) 内田研一(畜産、資源循環型農業、鳥獣被害対策 他) 江上宗信(作物、米全量全袋検査、GAP 推進 他) 笹川正樹(作物、農作業安全、種子対策 他) 齋藤克彦(野菜特産、青果物流通、農業技術情報 他) 各務 良(果樹、農薬安全使用・植物防疫 他) 大和田正幸(作物、直播栽培支援 他)